



梅田中学校だより10

令和3年11月1日

校長 森井 康匡

梅の香り

様々な教育活動が動き出しました

国内のコロナ感染の状況はとても改善され、飲食店の制限が解除されたり、イベントなどの制限も緩和されたりしています。学校における教育活動も様々な制限が緩和され、本来の教育活動が動き出しています。今までは授業においても、十分な話し合い活動や顔をつきあわせての実験や作業も遠慮がちに行われていましたが、そもそも学校は集団による活動ができてこそ、大きな意義を発揮する場所です。

現在の茅ヶ崎市は感染レベル1となっており、学校としては、再拡大のリスクも考慮しつつできるだけだけの活動を行って、子どもたちの有意義な時間を作り出していきたいと考えています。

10月より実施してきた活動として、宿泊研修（1泊2日）、地区音楽会（無観客でしたが）、部活動の大会などがありました。また11月には、校外学習やPTA主催の「夢を拓く講演会」なども実施予定となっています。

茅ヶ崎地区秋季大会（新人戦）の結果

- 男子バスケットボール部
 - 茅ヶ崎地区中学校バスケットボール大会
 - 予選リーグ 対寒川東中 11-23 対旭が丘中 12-46
 - 対円蔵中 21-18
 - リーグ敗退
- 女子バスケットボール部
 - 茅ヶ崎地区中学校バスケットボール大会
 - 予選リーグ 対北陽中 31-8 対鶴が台中 23-8
 - 対寒川東中 15-33
 - 決勝トーナメント進出
- 野球部
 - 茅ヶ崎・寒川地区新人戦大会
 - 予選リーグ 対萩園中 0-2 対鶴が台中 1-6
 - リーグ敗退
- サッカー部
 - サッカー新人大会
 - 対浜須賀中 0-4 敗退
- ソフトボール部
 - 茅ヶ崎中学校女子ソフトボール大会
 - 予選リーグ 対松林中 勝ち 対第一中 負け
 - 決勝トーナメント 準決勝 対北陽中 敗退 **第3位**
- 男子バレーボール部
 - 市民秋季バレーボール大会
 - 決勝戦 対浜須賀中 2-0 **優勝**
- 女子バレーボール部
 - 市民秋季バレーボール大会
 - 予選リーグ 対松浪中 0-2 対西浜中 0-2
 - リーグ敗退
- 陸上部
 - 茅ヶ崎体育協会陸上競技の部
 - 中学1年男子3000m **1位** (10:42.96)
 - 中学1年男子走高跳 **1位** (1m50)
 - 中学1年女子走幅跳 **1位** (4m84)
 - 中学2年女子1500m **1位** (5:22.51)

部活動 その他

- 陸上部
 - 神奈川県総合体育大会陸上競技の部
 - 中学女子走幅跳 **4位** (4m84)
 - 茅ヶ崎地区中学校駅伝大会
 - 男子の部 第9位 女子の部 **第3位**

○科学部は、発表会を行いました。



自然班は掲示で発表をしました。部員が主体となって実施するこの発表会は、3年生にとって最後となりました。

茅ヶ崎寒川地区中学校音楽会が行われました

今年度も昨年度同様、中止が検討されていきました。しかし、地区の音楽の先生方の何とか実施できないかとの強い思いで、無観客での実施を決めたのは9月初旬でした。緊急事態宣言が解除されたのは9月末であったため、予定を変更せず（できず）苦渋の決断としての無観客の開催となりました。

当日は無観客で実施されたので、保護者の皆さんに素晴らしい演奏を直にご覧いただけないことはとても残念でした。練習時間も少ない中、短い練習を集中して行い、見事に仕上げられた演奏はとても素晴らしかったです。

2年生は宿泊研修に行ってきました

天候にも恵まれ、とても有意義な2日間を過ごすことができましたようです。これまでの準備、当日の様々な体験、帰ってきてからの学校生活、すべてがつながった取り組みになっていることを実感していいと思います。

今年度2回目の授業研究会を実施しました

梅田中学校で行っている校内研究は、生徒にとって「質の高い授業を提供すること」を目的としています。これまでは、生徒が自ら考えたり話し合ったりすることで、深い学びにつなげるためのアプローチについて研究してきました。「主体的・対話的で深い学び」の実現させるものです。今年度より新しい学習指導要領が導入されたことで、それに加えて「指導と評価の一体化」を研究に取り入れています。

市教育委員会からも指導主事を招聘し、授業参観と協議にも参加していただきました。本校の取組について外部からの意見や情報を得ることができました。

また、先月生徒に向けた「学習スタイルについてのアンケート」についての集計では、本校で実施している学習評価のための取り組み（小テストや単元テスト、振り返りなど）について、64%の生徒が良いと回答し、良くないと回答した10%を大きく上回る結果となりました。今後も、生徒の受け止めをわれわれの授業研究にも役立て、質の高い授業を目指していきたいと考えています。